

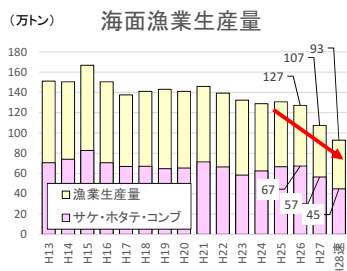
北海道水産業・漁村振興推進計画(第4期)案の概要

【計画期間:H30~34】

現状等

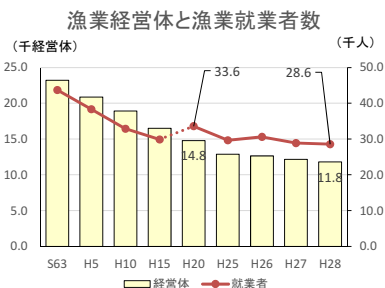
■漁業生産の減少

- 海水温等の海洋環境の変化や、台風・低気圧の被害などの影響
[漁獲減少]
秋サケ、ホタテ、コンブ、スケトウダラ、ホッケ等
- [漁獲増加]
イワシ、ブリ等



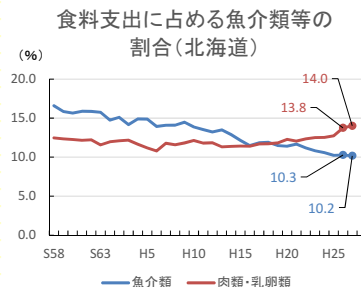
■漁業生産体制の脆弱化

- 漁業就業者の減少・高齢化の進行
- 漁船や漁労機器等の老朽化
- 漁労所得は低位、不安定



■消費者の魚離れ

- 水産物消費の減少が続き、今後の人口減少とあいまって一層の減少が懸念
- 簡便化等の消費ニーズの多様化



■大規模自然災害リスクの高まり

- 被災からの早期な復旧と復興
- 大規模地震による津波や激化が懸念されている台風等への備え



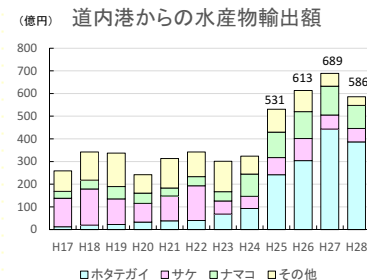
[流木の漂流・漂着]



[養殖施設の破損]

■国際情勢の変化

- 世界の水産物市場の拡大
- 国際貿易交渉の進展
- ロシア水域サケ・マス流し網漁業の操業禁止
- 外国漁船の操業活発化や国際的な資源管理の取組強化



■漁村地域の活力低下

- 漁業生産の減少による漁業や関連産業への影響
- 都市部への人口集中と地方の過疎化の進行
- 漁業就業者の減少

～変化に対応した水産業の体質強化と漁村の活力向上に向けて～

海洋環境の変化等に対応した漁業生産の早期回復と安定化

■水産資源の適切な管理及び秩序ある利用

- 漁業経営の安定を図りながら資源回復を促す取組の促進
- 増加傾向にあるイワシやサバ等の操業体制づくり
- 密漁取締体制の充実強化

■栽培漁業の推進

- 秋サケやホタテ、コンブの生産回復と安定化
- 栽培漁業の一層の推進
- 二枚貝等の養殖業の新たな展開

漁業経営体の収益性向上と人材の育成・確保

■担い手の育成確保や女性・高齢者の活動の促進

- 市町村・漁協等による新規就業者の受入体制の整備
- 新規就業モデルの検討

■安定的な漁業経営の育成

- 収益性の高い操業体制への転換促進
- 増養殖等による新たな生産体制づくり

■協同組合組織の経営の安定

- 組織体制や事業の充実強化

安全で良質な道産水産物の安定供給と消費拡大

■安全かつ良質な水産物の安定的な供給

- 放射性物質や貝毒のモニタリングと情報発信
- 衛生管理型漁港や水産加工場のHACCP認定取得促進

■水産物の競争力の強化

- 増加傾向にあるブリやイワシ等の付加価値向上と販路拡大
- 生産から消費等の関係者が連携した消費拡大の取組推進
- 輸出先国の開拓、輸出品目の多様化等による輸出促進

水産業を核とした活力ある漁村地域の形成

■水産資源の生育環境の保全

- 流木等の漂着物の処理や流木の発生抑制対策の推進

■環境と調和した水産業の展開

- トド等の有害生物の被害防止対策の推進

■快適で住みよい漁村の構築

- 漁港の耐震化等による漁村の防災力の強化

■活力ある漁村の構築

- 漁港の増養殖利用などによる漁港を核とした魅力ある漁村づくり

水産業・漁村の発展を支える水産技術の向上と道民理解の促進

■道民理解の促進

- 水産業や漁村が果たしている役割等の道民理解の促進
- 食育の推進

■水産業の振興に関する技術の向上

- 海洋環境の変化等の状況を踏まえ、多様化するニーズに対応した技術開発や技術普及の推進

基本方針
・
施策の
展開方向

目 標

漁業生産量 H27年 108万トン ⇒ 目標(H39年) 126万トン
すう勢(H39年) 107万トン

漁業生産額 H27年 3,137億円 ⇒ 目標(H39年) 3,178億円
すう勢(H39年) 2,667億円

【参考：第3期計画との対比】

《次期計画》

水産業漁村をとりまく情勢の変化

(1) 我が国の社会経済情勢の変化

人口減少・高齢化、**国際社会のグローバル化** 等

(2) 水産業をめぐる情勢の変化

海洋環境の変化や災害等の影響による**漁業生産の減少**、**漁業生産体制の脆弱化**、**国際的な漁業情勢の変化** 等

主な施策の展開方向

(1) 海洋環境の変化等に対応した漁業生産の早期回復と安定化

- ・秋サケやホタテ、コンブの生産回復と安定化をはじめ、栽培漁業の一層の推進
- ・漁業者による資源管理の取組の促進
- ・海洋環境の変化等で増加傾向にあるイワシ資源等の利用促進
- ・アサリやイワガキ、魚類など新たな養殖業の展開

(2) 漁業経営体の収益性向上と人材の育成・確保

- ・リース漁船の導入や生産性向上などによる漁業経営の収益性向上
- ・市町村・漁協を主体とした新規就業者の受入体制づくり
- ・新規就業者が複数漁業の技術を習得する**新たな就業モデルの検討**

(3) 安全で良質な道産水産物の安定供給と消費拡大

- ・生産から消費に至る関係者が連携した**消費拡大対策の推進**
- ・輸出品目や輸出先国の拡大、漁港や関連施設の衛生管理の高度化など、**輸出拡大に向けた環境づくり**

(4) 水産業を核とした活力ある漁村地域の形成

- ・自然災害に備えた漁村地域の防災力強化
- ・**流木の発生抑制対策の推進**
- ・漁港の静穏域の増養殖利用など、漁港を核とした**魅力ある漁村づくり**
- ・トド等の海獣による漁業被害防止対策の推進

(5) 水産業・漁村の発展を支える水産技術の向上と道民理解の促進

- ・水産資源や海洋環境の変化等に対応した**技術開発や技術普及の推進**

《現行計画》

水産業漁村をとりまく情勢の変化

(1) 我が国の社会経済情勢の変化

東日本大震災による甚大な被害、少子高齢社会の到来 等

(2) 水産業をめぐる情勢の変化

資源管理・漁業所得補償対策の開始、消費者の魚離れ
新たな水産基本計画等の策定

主な施策の展開方向

(1) 水産資源の持続的な利用と栽培漁業の推進

- ・ホッケやスケトウダラなどの資源管理の推進
- ・コンブの生産増大や秋サケ資源の回復・安定
- ・ニシンやナマコの種苗放流の拡大
- ・産卵藻場などの漁場の計画的な整備

(2) 人材の育成・確保と魅力ある漁業経営の展開

- ・研修所や現場での研修などによる担い手の育成確保
- ・漁業経営安定対策や老朽漁船対策の促進
- ・漁業経営の共同化・協業化の促進

(3) 安全・安心な水産物の安定供給と競争力の強化

- ・放射性物質や貝毒などの的確なモニタリング
- ・新たな商品開発や学校給食への導入による消費の拡大
- ・水産エコラベルの取得やEU-HACCP認定の取得促進など
輸出の回復・拡大

(4) 環境と調和した水産業の展開と安全で活力ある漁村の構築

- ・磯焼け対策や流木等の回収処理対策の推進
- ・漁港・漁村における防災・減災機能の強化
- ・トド等の海獣による漁業被害防止対策の推進

(5) 水産業・漁村が有する多面的な機能の発揮と道民理解の促進

- ・道総研と連携した**技術開発や調査研究の推進**